

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	瀧本 誠 (タキモト マコト)		
副担当教員氏名(カナ)	秋田 浩一 (アキタ コウイチ) 竹田 幸夫 (タケダ ユキオ) 江口 淳一 (エグチ ジュンイチ) 鈴木 淳平 (スズキ ジュンペイ) 湯田 一弘 (ユダ カズヒロ)		

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習 (トレーニング)		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	瀧本 誠 (タキモト マコト)		

授業概要	<p>初めに体力測定を行い、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス(有酸素運動)・ウエイトトレーニング等を行う。</p> <p>ウエイトトレーニングでは、米航空宇宙局(NASA)で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行う、このマシンは、ダイヤル調節だけで負荷の調節が出来て簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。</p>		
到達目標(ねらい)	<p>トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力を出来るだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行う練習、訓練である。</p> <p>近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会環境の変化などから、日常の筋肉運動が少なくなり、且つ、また進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰により肥満傾向になるなど、日常生活における身体運動の必要性が高まっている。日常生活以外に運動を行わないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力の低下が見られ若年者でありながら成人病に陥り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。</p>		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション	
	第2回	体力測定	
	第3回	最大筋力測定	
	第4回	トレーニング開始 毎時間、1/4～3/4の負荷を選び5～8種目のマシンを、2～3セット行う。	
	第5回	有酸素運動と心拍数の関係を解説 トレーニング	
	第6回	トレーニングの間隔と効果の解説・実行 トレーニング	
	第7回	ストレッチ(立位)実行と解説 トレーニング	
	第8回	ストレッチ(座位)実行と解説 トレーニング	
	第9回	運動と平衡バランスの実行と解説 トレーニング	
	第10回	トレーニング	
	第11回	『背骨』に良いストレッチの解説と実行 トレーニング	
	第12回	トレーニング	
	第13回	トレーニング・最大筋力測定	
	第14回	体力測定	
	第15回	まとめ <授業の内容は前後する場合があります。>	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	器具の要らないトレーニング方法(一人で、対人で)等講義する。 服装、トレーニングウェア、室内用シューズを用意すること。		
成績評価の方法	40%	平常点	
	60%	総合評価	
	出席、トレーニング内容、(毎時間記録用紙に記入)、授業への取り組み態度、意欲を総合して成績評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	前年度「学生による授業アンケート」において、「熱心に授業に取り組めた」項目が高評価であった。更に学生が主体的に授業に取り組めるように環境を整える予定である。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習 (サッカー)		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	秋田 浩一 (アキタ コウイチ)		

授業概要	本授業では、基本技術の習得とゲームを行い、サッカーの楽しさを実感する。		
到達目標(ねらい)	サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることで数段ボール扱いがうまくなり、ゲームも楽しいものになる。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことの理解度を高める。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容と服装等の説明	
	第2回	班分け、インサイドキック、トラッピング(グラウンダー)	
	第3回	インサイドキック、練習ゲーム	
	第4回	浮き球のトラッピング1、リーグ戦1	
	第5回	インステップキック、リーグ戦2	
	第6回	インフロントキック、リーグ戦3	
	第7回	オフサイドルールの理解、リーグ戦4	
	第8回	浮き球のトラッピング2、リーグ戦5	
	第9回	基礎技術の応用練習、リーグ戦6～9	
	第10回	基礎技術の応用練習、リーグ戦6～9	
	第11回	基礎技術の応用練習、リーグ戦6～9	
	第12回	基礎技術の応用練習、リーグ戦6～9	
	第13回	基礎技術の応用練習、優勝決定戦	
	第14回	基礎技術の応用練習、優勝決定戦	
	第15回	まとめ	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	服装は、一般的な運動服で良いが必ずアップシューズもしくは、ゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	出席	
	実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人の実技テストは行わない。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	サッカーやチームゲームの楽しさを理解し、身に付けて欲しい。技術(レベル)に合ったチーム編成を行い、学生が満足できるような授業をしたい。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	竹田 幸夫 (タケダ ユキオ)		

授業概要	「体操」という種目を広義に捉え、健康体操ならびに器械運動・トランポリンの実技を行う。ストレッチ体操等の健康体操は、毎回ウォーミングアップとして実践する。器械運動やトランポリンについては、さまざまな課題の中から自分自身が選択して練習に取り組む。		
到達目標(ねらい)	健康体操については、ストレッチ体操、体のバランスを整える体操、セルフマッサージを実践し、日々の生活で実践できる健康法を理解する。器械運動では、マット・鉄棒・トランポリン等の種目において初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に課題を習得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび(バック転)の習得をめざす。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業内容の説明	
	第2回	健康体操とストレッチ体操、トランポリンの基本動作	
	第3回	セルフマッサージ法、トランポリンの基本動作	
	第4回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第5回	ストレッチ体操、マット、トランポリン	
	第6回	ストレッチ体操、マット、男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第7回	ストレッチ体操、マット、男子あん馬、女子平均台、トランポリン	
	第8回	ストレッチ体操、男子つり輪、女子平均台、トランポリン	
	第9回	ストレッチ体操、男子つり輪、女子鉄棒、トランポリン	
	第10回	ストレッチ体操、男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第11回	ストレッチ体操、男子平行棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第12回	ストレッチ体操、男子鉄棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第13回	ストレッチ体操、男子鉄棒、女子鉄棒、トランポリン	
	第14回	まとめと評価	
	第15回	YeStudy による課題授業(スポーツ運動の理論/スポーツ運動のさまざまな特徴)	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	授業の進行状況に応じて、課題となっている技、ならびに体操競技の競技会のビデオ(DVD)を観る。 服装は、一般的なスポーツウェアとする。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川第2体育館1階アリーナの体操場で行う。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、勝手に使用せず、授業における教員の指示に従うこと。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技点	
	男女それぞれ易しい技から難しい技まで40~50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択して学習する。課題の達成度の評価は受講生同士で行い、その達成度を得点に換算して実技点とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	前年度「学生による授業アンケート」において授業に関する設問の各項目とも高評価であった。その中で、「あなたの学修目標を十分に達成できたと思いますか」という設問に対して「どちらとも言えない」と回答した学生が15%であった。平素なかなか取り組まない独特な種目であるので、不得意な学生に対してよりきめの細かいアドバイスを心掛ける予定である。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習 (テニス)		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	江口 淳一 (エグチ ジュンイチ)		

授業概要	生涯スポーツとして、定着したテニスの基本的打球技術を習得し、ルールやマナーを学ぶことによって、生涯を通じて安全で楽しくテニスを実践する能力と態度を養う。また、授業を通して得られる様々な経験から、健康で活力のある生活の基礎となる身体運動への理解と、生涯スポーツとしての導入を図る。		
到達目標(ねらい)	グラウンドストローク、ボレー、スマッシュ、サービスなどの基本的打球技術の習得と、ルールやマナーを理解する。また、スポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツの持つ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身につけ自立的にスポーツを生活化する態度を養う。 さらに、共通の体験を通して、大学時代でなければ得られない人間関係を作り、社会性を養い、総合的人格の形成を目指す。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	ラケットイング、ボレー、ミニストローク	
	第3回	フォアハンドグラウンドストロークの基本技術	
	第4回	バックハンドグラウンドストロークの基本技術	
	第5回	フォアハンド・バックハンドボレーの基本技術	
	第6回	スマッシュ、サービスの基本技術	
	第7回	ラリーを通しての応用練習	
	第8回	半面でのシングルスゲーム	
	第9回	半面でのシングルスゲーム(リーグ戦)	
	第10回	半面でのシングルスゲーム(トーナメント)	
	第11回	ダブルスのルールと戦術	
	第12回	ダブルスのゲーム(リーグ戦)	
	第13回	ダブルスのゲーム(リーグ戦)	
	第14回	ダブルスのゲーム(トーナメント)	
	第15回	理解度の確認	
準備学習	体育実技なので、フルに動けるよう体調管理に留意すること。 授業内でも説明するが、あらかじめテニスのルールを理解しておくこと。		
履修上の留意点等	雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的解説、映像による戦術の解説および分析などの講義を行うか、テニスに必要なトレーニングを体育館で行う予定である。 ・履修者の技術レベルは問わない。 ・服装は一般的な運動服装とする。 ・ラケットは貸与する。		
成績評価の方法	60%	平常点	
	20%	技術習熟度	
	10%	ルール等の理解	
	10%	体力の維持増進度	
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	前年度「学生による授業アンケート」の結果では、各項目で概ね高評価を得た。自由記述欄において、初級者は打球技術の習得に時間をかけて欲しいとの要望があり、上級者はもっとゲームがしたいとの要望があった。能力別の班編成等を工夫することで、個々の技術に合った楽しみ方ができるよう工夫するつもりである。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習 (卓球)		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	鈴木 淳平 (スズキ ジュンペイ)		

授業概要	本講義では、より豊かな余暇活動として最良の生涯スポーツである卓球を教材とし、そこで用いられる身体運動等を学習する。		
到達目標(ねらい)	毎時間ゲームを行い、種目特有の技術・戦術等を体得し、仲間づくりや身体運動の楽しさを感じつつ、体力の維持・増進を図ることを主な目標とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション 種目選択 ガイダンス	
	第2回	ならし運動、試合(ダブルス)	
	第3回	基礎技術練習、試合(ダブルス、混合ダブルス)	
	第4回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第5回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第6回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第7回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第8回	応用技術練習、試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第9回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第10回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第11回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第12回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第13回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第14回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス)	
	第15回	試合(ダブルス、混合ダブルス、シングルス) まとめ	
準備学習			
履修上の留意点等	運動に適したスポーツウェアと、凹凸の少ないフラットなソールの清潔な室内用シューズで受講すること。積極的に運動すること。		
成績評価の方法	80%	平常点	
	20%	総合評価	
	授業に出席して実技を实践することが重要である。出席を重視し、運動参加への積極性などを総合的に評価する。出席点は評点の80%とし、遅刻や欠席の減点法で計算する。その他、運動参加への意欲、積極性、協調性、受講態度等を加え総合的に評価する。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	授業アンケート結果には真摯に対応し、意見や要望に可能な限り応えることができるように最善を尽くしたい。		
関連リンク			

履修コード/科目名称	195401 / 健康・スポーツ実習（室内球技）		
開講年度	2016年	開講曜日・時限	木・2
担当教員氏名(カナ)	湯田 一弘 (ユダ カズヒロ)		

授業概要	バスケットボールの競技特性を理解し、バスケットボールを楽しむための基礎技術やルールなどについて学び、ゲームで発揮できるようにする。		
到達目標(ねらい)	バスケットボールの技術上達はもとより、毎時間ゲームを行うことにより協調性やリーダーシップ等を養う機会とし、豊かな人間関係作りとともに生涯スポーツについても理解を深めることを目的とする。		
授業スケジュール	第1回	オリエンテーション、授業目標の説明	
	第2回	基礎練習、ゲーム	
	第3回	基礎練習、ゲーム	
	第4回	基礎練習、ゲーム	
	第5回	基礎練習、ゲーム	
	第6回	基礎練習、ゲーム	
	第7回	基礎練習、ゲーム	
	第8回	グループ戦術練習、ゲーム	
	第9回	グループ戦術練習、ゲーム	
	第10回	チーム戦術練習、ゲーム	
	第11回	チーム戦術練習、ゲーム	
	第12回	ゲーム(リーグ戦)	
	第13回	ゲーム(リーグ戦)	
	第14回	ゲーム(リーグ戦)	
	第15回	ゲーム(リーグ戦)	
準備学習	特になし		
履修上の留意点等	スポーツウエア(上下)、体育館シューズの着用を厳守すること。		
成績評価の方法	70%	平常点	
	30%	実技	
	積極的に授業に出席し、真剣に取り組む事が重要である。したがって、平常点70%、実技点30%とする。		
教科書/テキスト			
参考書			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善に	2016年度から新規担当のため、前年度実績なし。		
関連リンク			